



只見小学校(5月24日)



朝日小学校(5月18日)

## 3小学校

# 運動会



明和小学校(5月11日)

## 春 3地区 振興センター のウォーキング

3地区の振興センターでは、それぞれの地区を歩くウォーキングイベントを企画し実施しました。このウォーキングイベントは小学校の学年行事にもなり、子どもから大人までたくさんの方が参加され、楽しくおしゃべりなどをしながら歩き気持ちの良い汗を流しました。



只見地区(旅行村)



朝日地区(亀岡)



明和地区(梁取)



# ブナセンター講座 「田子倉の昔を語る！」



旧田子倉集落出身の方々による座談会「田子倉の昔を語る！」を4月20日(日)に行いました。語り部は、渡部完爾さん、皆川友一さん、皆川幸喜さん、新国道子さん、山岸秀弥さんの5人で、町内を中心に25名の方が参加され、参加者からの質問に答える形で、当時の田子倉の状況と思い出が語られました。

田子倉の産業、歌舞伎、婚姻、冬の暮らし、子どもの頃の遊び、ダム建設時の状況など、話題は多岐にわたりました。ダムに沈む前の田子倉は4~5mもの雪が降り積もる豪雪地帯で、土地が豊かでゼンマイなどの山菜が



たくさん採れ、質の良い糸がとれる養蚕も盛んだったそうです。大きなマスも浅瀬を埋め尽くすように遡上し、沢水をひいた台所にも魚が入ってきたのだとか。捕ったマスを村の中で均等に配分する「まわり組」という制度は、集落の人々の助け合いを伝えています。その他にも、シシ山(クマとり)でクマが怖くて逃がしてしまった笑い話や、小さい頃の思い出話をたくさん聞くことができました。休憩室でのブナセンター講座は初めてでしたが、お茶を飲みながら、笑いがあふれる和やかな講座となりました。

## 春の自然観察会

今年もゴールデンウィークに2つの観察会を行いました。今年は雪どけが早く春植物の開花状況やブナ林の残雪状況が心配されましたが、只見町の春が感じられる観察会となりました。

### 5月4日(日)「春植物を愛でる！」

当日は、天候にも恵まれ、22名の方が参加されました。

はじめに楯戸地区の観察林で一面に広がるカタクリのお花畑とブナ林を観察し、次に、黒谷川流域に移動し、フクジュソウの群生地やユビソヤナギ、雪食地形を観察するといった充実した内容となりました。フクジュソウは、花だけでなく、果実も観察することができたほか、様々な花々を見ることができました。



▲黒谷川流域での春植物の観察

### 5月5日(月・祝)「春のブナ林を歩く！」



▲新緑のブナ林を歩く

「癒しの森」で行われたブナ林の観察会は、参加者12名で、のんびりとブナ林を楽しむことができました。

林内には、まだ雪が残っており、残雪を楽しみながらブナの新緑の中を歩きました。ブナの花や、落ち葉の下に隠れたブナの新芽、交流広場に横たわる寿命を迎えた大きなブナの倒木など、様々なブナの姿を観察することができました。